

Project

03



”こだわりををかたちにする”

毛利家の遺訓と気概を継承し、最高の制作環境をミュージシャンに提供するスタジオ

MOURI ART WORKS STUDIO Inc.

モウリスタジオ

東京都目黒区

ホームスタジオである目黒のモウリ・アートワークススタジオは、コントロールルームと録音ブースの間が全面ガラス張りになっているため、その反射に随分と悩まされてきました。そんなところに現れたこのSHIZUKA SDM。最初に感じたのは恐ろしく位相が良かったこと。以前の音像を鉛筆の濃さで例えるとHBくらいだったとすると、2Bくらいのくっきりとした輪廓になったかのようなでした。低音の吸音性の良さも特筆すべきですが、加えて中高音のピークを柔らかくもしてくれます。すっきりとした音像を得る事ができ、仕事の効率がすごくよくなりました。歌の録音にも絶大な効果を発揮します。大きく張りのある声の方などの場合、声の初期反射がマイクにかぶってくるために部屋の広さが分ってしまうことがあります。SHIZUKA SDMをマイクの周りに設置することによりほぼ解決します。アイデアや考え方で様々なことができると思います。

飯尾芳史 (Yoshifumi Iio)



(プロフィールと作品)

1979年アルファレコード入社。細野晴臣『フィルハーモニー』を皮切りに、¥ENレーベルのほとんどの作品を手がけ、1983年にフリーランスとして渡英。トニー・ヴィスコンティのスタジオでエンジニアリングとプロデュースのノウハウを学ぶ。その後オフィス・インテンツィオを経て1986年に藤井丈司らと株式会社トップを、1999年に株式会社アップアップを設立。2010年より再びオフィス・インテンツィオ所属となり多くのミキシングやプロデュース、アレンジも担当している。最近では渡辺美里「ハートに火をつけて〜シーズン2〜with 怒髪天」/ 矢野顕子「やのどあがつまAsteroid and Butterfly」「愛を告げる小鳥」/ 小坂忠「まだ夢の途中」/ スターダストレビュー「年中模索」/ 映画「音響ハウス Melody-Go-Round」など



アーティスト/録音エンジニア
飯尾芳史 (Yoshifumi Iio)

DATA

モウリアートワークススタジオ株式会社

東京都目黒区目黒 3-3-18

代表：毛利永子

設立：平成4年4月

<http://www.mouri-aw.co.jp>